

5月9日（金）^{ふしん}不審^{ひと}な人^{であ}に出合ったら

^{ほうかご}放課^す後の^{かた}過^{みな}ごし方^{はなし}について、皆^{みな}さん^{はなし}にお話^{はなし}を^{はなし}します。

この^{なんにち}何日^{ふしん}かで、「不^{ふしん}審^{ひと}な人^{こえ}に^{はなし}声^{なんにん}をかけられた」という^{はなし}話^{なんにん}を何人^{はなし}か^{なんにん}から、^き聞^しいて^{ひと}います。そこで、知^{こえ}らない人^{とき}に^き声^きをかけられた^{とき}時^き、気^きをつ^きけて^きほしい^きことを^{はなし}話^{はなし}します。

1つ目。^{かえ}あいさつ^{かえ}を^{かえ}されたら、あいさつ^{かえ}を^{かえ}返^{かえ}しましょう。あいさつ^{かえ}が^{ちいき}地^か域^かで^{しぜん}交^{しぜん}わ^{しぜん}さ^{しぜん}れる^{しぜん}ことは、と^{しぜん}ても^{しぜん}いい^{しぜん}こと^{しぜん}です。自^{しぜん}然^{しぜん}と^{しぜん}あい^{しぜん}さ^{しぜん}つ^{しぜん}が^{しぜん}ひ^{しぜん}ろ^{しぜん}う^{しぜん}る^{しぜん}地^{しぜん}域^{しぜん}に^{しぜん}して^{しぜん}い^{しぜん}き^{しぜん}ま^{しぜん}し^{しぜん}よう。

2つ目。^し知^{ひと}らない人^いに、「こ^いれ^いあ^いげ^いる」と^{ことわ}言^{ことわ}わ^{ことわ}れたら、断^{ことわ}り^{ことわ}ま^{ことわ}し^{ことわ}よう。
ど^{もの}んな^{もの}物^{もの}な^{もの}のか^{もの}分^{もの}か^{もの}り^{もの}ま^{もの}せ^{もの}ん。そ^{もの}の^{もの}人^{もの}が^{もの}ど^{もの}こ^{もの}で^{もの}手^{もの}に^{もの}入^{もの}れ^{もの}た^{もの}物^{もの}な^{もの}のか^{もの}も、
と^{しんぱい}ても^し心^し配^しで^しす。知^{ひと}らない人^{もの}か^{もの}ら^{もの}物^{もの}を^{もの}も^{もの}ら^{もの}い^{もの}ま^{もの}せ^{もの}ん。

3つ目。^し知^{ひと}らない人^{なまえ}に、名^{なまえ}前^{いえ}や^{いえ}家^{いえ}の^{いえ}場^{いえ}所^{いえ}を^{いえ}尋^{いえ}ね^{いえ}ら^{いえ}れ^{いえ}て^{いえ}も、^{こた}答^{こた}え^{こた}ない^{こた}よう^{こた}に^{こた}ま^{こた}し^{こた}よう。
名^{なまえ}前^{なまえ}や^{なまえ}家^{なまえ}の^{なまえ}場^{なまえ}所^{なまえ}は、個^{こじん}人^{こじん}が^{こじん}特^{こじん}定^{こじん}で^{こじん}き^{こじん}る^{こじん}大^{だいじ}事^{だいじ}な^{だいじ}大^{だいじ}事^{だいじ}
な^{じょうほう}情^{じょうほう}報^{じょうほう}で^{じょうほう}す。そ^しれ^しを^し知^{ひと}ら^{ひと}ない^{ひと}人^{ひと}に^{ひと}簡^{かん}単^{たん}に^{かんたん}伝^{つた}え^{つた}る^{つた}の^{つた}は、非^{ひじょう}常^{ひじょう}に^{ひじょう}危^き険^{けん}で^{きけん}す。

こ^{おも}の^{おも}3^{おも}つ^{おも}の^{おも}こ^{おも}と^{おも}を^{おも}思^{おも}い^{おも}出^{おも}して、人^{ひと}に^{ひと}は^{ひと}接^{せつ}して^{せつ}く^{せつ}だ^{せつ}さい。自^{じぶん}分^{じぶん}が^{じぶん}怖^{こわ}い^{こわ}
と^{かん}感^{かん}じ^{かん}たら、そ^{かん}の^{かん}場^{かん}か^{かん}ら^{かん}静^{じやう}か^{じやう}に^{じやう}立^たち^た去^さつ^さたり、大^{おとな}人^{おとな}に^{おとな}言^いつ^いたり^いしま^いし^いよう。
ま^{まち}ち^{まち}が^{まち}間^{まち}違^{まち}え^{まち}て^{まち}も、相^{あいて}手^{あいて}を^{あいて}挑^{ちやう}発^{はつ}して^{ちやうはつ}怒^{おこ}ら^{おこ}せ^{おこ}る^{おこ}こ^{おこ}とは^{おこ}し^{おこ}ない^{おこ}で^{おこ}下^{くだ}さい。